

## 授業シラバス

印刷

### 詳細情報

2019-S000009622-01

2019-02-07 08:20:40

科目名「クラス名」(サブタイトル)	期別	単位数	開講年次
アカデミックスキルズゼミⅠ(読む・書く・話す・聞くことのレッスン)	前期	2	1
担当教員	鶴田 直之、(工学部)、甲斐勝二(人文学部)、須長 一幸(教育開発支援機構)、紺田 広明(教育開発支援機構)		
授業形態	実務経験	科目水準	試験実施

### 概要

大学では、所属する学部学科によらず、体系化された学問知識だけではなく、「データの読みとり方」、「他人の意見の要点のとりえ方」、「論理的な思考法」、「質問の仕方」、「批判や反論の方法」、「他人に自分の意見を伝える方法」、「ノートのとり方」、「わかりやすい文章の書き方」といった多くの高度なアカデミックスキルズ(学問的技法)を習得する必要があります。この授業では、それらの基礎部分である「読む、聞く、話す、書く」能力をアカデミックスキルズの習得に必要な不可欠なレベルにまで多角的に養います。そのために、授業は異なる学問分野を専門とする4名の教員が担当します。同時に大学で学問を修めるための学ぶ態度や規律性も身に付けます。

第1回目の合同ガイダンスの際に、受講生を4チームに分けます。それぞれのチームは3名の教員から4回ずつ授業を受けることとなります。そこでは、「授業計画」の欄の第2回目から第13回目までに記載している複数の入門的なアカデミックスキルズ活用場面を通じて「読む、聞く、話す、書く」能力を育成する授業を行ないます。第14回目と第15回目の合同ゼミでは、受講生全員が一つの教室に集まって、それまでに養った「読む、聞く、話す、書く」能力を実地に活用する課題に取り組みます。学期中の2回のミニレポートを通じてレポート作成のルールと基本的な体裁を知り、適切な構成と論理性を踏まえた内容のレポートを作成する練習をした後、学期末には、合同ゼミの内容を踏まえて各自が最終レポートを提出します。

### 到達目標

入門的なアカデミックスキルズ(「読む、聞く、話す、書く」能力)を活用できる(技能)

合同ゼミでは、チーム単位で根拠の有無や実現性、効果、論理性を踏まえた提案ができ、またチーム単位で表現を工夫して提案内容を発表することができ、更に論点を踏まえて的確な質疑応答ができる(技能)

2回のミニレポートと最終レポートでは、レポート作成ルールを順守して形式的な体裁を整え、適切な構成と論理性を踏まえた内容のレポートを作成できる(技能)

### テキスト

特に使用しません。授業中に、適宜、プリントなどを配布します。

### 参考書

『福大生のための学習ナビ』(福岡大学 教育開発支援機構)

『「言葉の力」育成の手引』(福岡大学 教育開発支援機構)

佐藤望編著『アカデミック・スキルズ』(慶應義塾大学出版会)

その他、授業中に適宜、紹介します。

### 履修上の留意点

このアカデミックスキルズゼミⅠは講義形式の授業とは異なり、基本的には皆さん自身が自ら考え、調べ、発言し、ゼミの仲間と議論することを通じてアカデミックスキルズを身につけてゆくこととなります。その意味で、授業には積極的な姿勢で臨み、安易に欠席や遅刻をしないようにしましょう。また、もし可能であれば、後期開講のアカデミックスキルズゼミⅡもあわせて履修することを勧めます。より充実したアカデミックスキルズの習得が期待できます。

### 授業計画

回	授業内容
1	合同ガイダンス(担当者全員)
2~13	「概要」欄に書いたように、2回目から13回目までは、受講生は4チームに分かれます。それぞれのチームは3名の教員から4回ずつ授業を受けるこ

以上の活動において、授業に積極的な態度で参加でき、また仲間と協調してゆく姿勢をとることができ、更に集合時間や締め切りを守るといった規律ある行動ができる(態度・志向性)

### ✚ 授業時間外の学習(予習・復習)

理解のむずかしかった点を自分なりに整理する(30分)。次回の授業までに調べてくるよう指示された項目については予習をする(60分)。授業で習得したアカデミックスキルズを他の授業等の学習に活用する(60分)。また、レポートは、教員の指導に従い十分な時間をかけて作成してください。

### ✚ 成績評価基準および方法

定期試験は行いません。授業の第2回目から第13回目までは、授業の各回で用意された入門的なアカデミックスキルズを活用する際の発言や活動、宿題により、「読む、聞く、話す、書く」能力および積極性を総合的に評価します。一方、協調性を乱すような行為、遅刻や欠席、宿題の未提出や提出遅延は減点の対象とします。これらを平常点とします。

第14回目と第15回目の合同ゼミでは、チーム毎の発表と質疑応答を通じて提案内容(根拠の有無、実現性、効果、論理性)と表現の工夫、質疑応答内容、チームワーク(協調性)をチーム単位で評価します。

2回のミニレポートと学期末の最終レポートでは、内容の構成と論理性、レポート作成ルールの順守、形式的な体裁を評価します。剽窃などのルール違反は大幅な減点とします。

以上、平常点と合同ゼミ、レポートの評価の割合は、それぞれ6割、1割、3割とします。

とになります。担当教員3名の組合せはチームによって異なります。各チームの担当教員割を記載した「2019年度アカデミックスキルズゼミⅠ 授業予定表」をWebシラバスの「添付ファイル」欄に添付しているため、参照してください。詳細は第1回目の合同ガイダンスで説明します。なお、4名の教員の4回分の講義内容は以下の通りです。

鶴田(情報科学)、読む:文章の構造を手掛かりに読もう、書く:批判を基に自分の意見を考えよう、話す:自分の意見を構造化して伝えよう、話す・聞く:学んだことをチームでまとめよう

甲斐(中国文学)、読む:小説を読もう・映像を読もう、聞く:他者の理解に耳を傾けよう、書く:他者の理解を踏まえて自分の考えを言葉にしよう、話す:資料と共に自分の考えを発表しよう

須長(科学哲学)、聞く:大学の「ルール」を知ろう、書く:大学と高校の授業の違いを考えよう、読む:より深く考えるための読み方を学ぼう、話す:意見交換の技術を知ろう

紺田(心理学)、読む:自己分析から自分を理解しよう、話す:自分の言葉で他者に伝えよう、聞く:他者の話を聞き視野を広げよう、書く:これからの目標をまとめよう

14,15 合同ゼミ(担当者全員)

### ✚ URL

Moodleシステムサービス  
(<https://moodle.cis.fukuoka-u.ac.jp/>)

### ✚ 添付ファイル

2019年度アカデミックスキルズゼミⅠ 授業予定表  
([AS1授業予定表シラバス用-火5.pdf](#))

